

吉見中学校学校教育目標

学び合い・認め合い・高め合う ○学ぶ ○磨く ○鍛える

大きく飛躍する2学期に！

9月1日、2学期の始業式に臨む生徒たちの表情に、落ち着きと、2学期へのやる気を見て取ることができました。

保護者の皆様や地域の皆様には、これまで同様にそれぞれのお立場でのご理解・ご協力、温かい見守りをよろしくお願いいたします。

～始業式の言葉より(校長の言葉の抜粋)～

《1%の可能性を信じ、あきらめない精神》

この夏、スポーツの分野において埼玉県選手の活躍がめざましかったということです。

まず、何といっても本校の卒業生で、8月にロンドンで行われた世界陸上選手権大会に出場を果たした大室秀樹選手です。8月6日に男子110mハードルに出場しました。本校の卒業生がこうして世界の檜舞台で活躍している姿、私たち後輩に大きな自信と勇気を与えてくれます。

さらに、この世界陸上には、久喜市出身の市民ランナー、川内優輝選手がマラソンに出場し、日本人選手最高の9位で完走しました。さらに、男子400mリレー決勝で見事銅メダルに輝いたメンバーの中に埼玉県出身の選手がいました。

その選手とは、アンカーをつとめた藤光謙司選手です。藤光選手は、さいたま市の出身です。

今年の世界陸上ロンドン大会は、男子100mに出場したサニブラウン・ハキーム選手、多田修平選手、ケンブリッジ飛鳥選手の3人が全員決勝に進むほどの力の持ち主でした。この最強トリオに加えて、リオオリンピックの銀メダルメンバーの桐生祥秀選手、飯塚勝太選手もいました。リレーメンバーは4人です。普通だったら、藤光選手には声がかかると誰一人思っていなかったと思います。しかし、そんな中、藤光選手はあきらめず黙々と調整に努め、いつレースに出ても大丈夫なようコンディションを整えていました。「世界大会は何があるかわからない。全ての走順で準備していた」と出場できる確率のほとんどない中で、1%の可能性を信じ準備をしていたのです。この藤光選手の精神力の強さに私は驚かされました。この藤光選手の準備がなかったら恐らくメダルはなかったろうと思います。北京五輪、ロンドン五輪ともあと一步のところまでケガに泣かされ、ようやく選ばれたリオ五輪では、リレーを走れず、リオ五輪後には引退を考えたという31歳の藤光選手、その藤光選手の胸にメダルがかけられたということに、私は感動いたしました。どんなに可能性が小さくても、決してあきらめない。可能性を信じ、努力することの大切さを改めて教えてもらいました。皆さんは、この藤光選手の活躍、どう感じるでしょうか。

《2学期に期待すること》

さて、いよいよ2学期が始まりました。飛躍を目指す2学期です。

3年生は、ほとんどの人が部活動を引退し、これからは自分の進路に向けての動きが本格的になります。2年生は、3年生引退後の部活動や生徒会活動など、学校の中心として活躍し、吉見中を支える柱となっていく時期になります。1年生は吉見中生として、来年入学してくる生徒たちの手本とされるよう自分に磨きをかけていく期間に入ります。

9月は7日に学校祭が、16日には体育祭が予定されています。さらに、それが終わると新人戦、生徒会役員選挙、定期テスト、合唱祭など忙しい日程が続きます。

行事やテストは自分を磨くチャンスです。目標を決めてそれに向かって努力することや、失敗や挫折を乗り越えて前に進む経験は、自分を成長させる上で大きな意味を持っています。先ほど話した藤光選手も多くの挫折を乗り越え、前に進んできたから世界陸上選手権大会で満開の花を咲かせることができたのです。

本気で頑張る、自分の力の限りを尽くすということがあつての成長です。目標もなく努力もせず、何となく本番に臨む人には成長は期待できません。成功すれば、喜びとともに自分の成長を実感することができるでしょう。失敗、挫折は苦しい体験ですが、それを乗り越えた時、人は必ず大きく成長します。どちらにしても本気で取り組むからこそ獲得できる自分の成長です。

今日から始まる2学期、本気で取り組んでいきましょう。

学校祭

2学期最初の大きな行事である学校祭が、9月7日（木）に行われました。当日は、実行委員や生徒会本部役員等を中心に主体的かつ円滑な運営がなされ、10名の生徒による中学生オーストラリア派遣報告、英語弁論、芸術発表、吹奏楽演奏、文化部・教科展示、プールでは水泳部の発表など、吉見中の文化活動の成果を発表し、多くの賞賛の声をいただいて終了することができました。生徒の活動する姿を通して、吉見中生の持てる思考力や判断力、想像力や表現力、探究心や感性の一端をご覧いただけたのではないかと思います。



体育祭

9月16日（土）、台風の影響で天候が心配されましたが、大勢のご来賓、保護者、地域の皆様のご来校をいただき、無事体育祭を実施することができました。学校祭が終わってからの短い練習期間でしたが、各団ともに、練習の段階から、団長、応援団員、3年生を中心によくまとまっていました。本番では、「走れ、舞え、叫べ、跳べ、虎龍狼鳳（こりゅうろうほう）」のテーマのもと、練習の成果を力一杯発揮し、やる気と元気とチームワークを身にまとった生徒たちの勇士が、豊かに実った稲穂のごとく、グラウンドに鮮やかな輝きを放っていました。ご来校ご声援をいただき、誠にありがとうございました。



《総合成績》 優勝 赤 団（1年2組、2年4・5組、3年4組）

第2位 緑 団（1年4組、2年3組、3年1組）

《応援賞》 赤 団（1年2組、2年4・5組、3年4組）

黄 団（1年3組、2年2組、3年3組）

栄光の記録

〔夏の活躍〕部活動では、バレーボール部、女子ソフトテニス部、男子卓球部、剣道部、柔道部、陸上部、水泳部が県大会に出場し、比企地区の代表として精一杯力を発揮しました。また、吹奏楽部も西部地区大会で代表となり、県大会に出場しました。学校以外の活躍ですが、茂木美奈さんがシンクロナイズドスイミング（チーム）で全国大会出場を果たしました。

〔秋の活躍〕各部とも3年生が引退し2年生を中心とする新チームの活動が始まりました。9月13日（水）には、水泳の新人戦が川口市で開催され、本校水泳部も多くの種目に出場し、日頃の練習の成果を力一杯発揮してきました。

陸上部は、20日（水）に、陸上の比企地区新人戦が東松山陸上競技場で行われ、次の選手の皆さんが10月10日（火）熊谷市で行われる県大会への切符を手に入れました。

<男子>

400M 第2位 狩集俊哉（2年）

四種競技 大木優大（2年）

（走り幅跳び、110MH、砲丸投げ、200M）

<女子>

800M 第4位 赤池莉奈（2年）

100MH 第3位 宮崎志歩（2年）



【10月の主な行事予定】		16日(月)	定期テスト
1日(日)	町民体育祭	17日(火)	定期テスト 生徒会本部役員選挙
3日(火)	3年生実力テスト	20日(金)	県大会激励会
4日(水)	新人体育大会比企地区予選会（～7日）	23日(月)	学校公開（～28日）
8日(日)	英語検定	24日(火)	比企地区駅伝大会
10日(火)	教育実習開始（～28日） 陸上新人県大会	28日(土)	第26回合唱祭
		30日(月)	振替休日
12日(木)	3年進路説明会	《お願い》給食費等の口座振替は毎月10日(再振替20日)です。	